

避難システム整備(情報伝達確実性向上)

都市水害への対応



曾根崎ジオ・フロント
みちまちスクエアきた



福島CCTVより淀川
大橋を望む



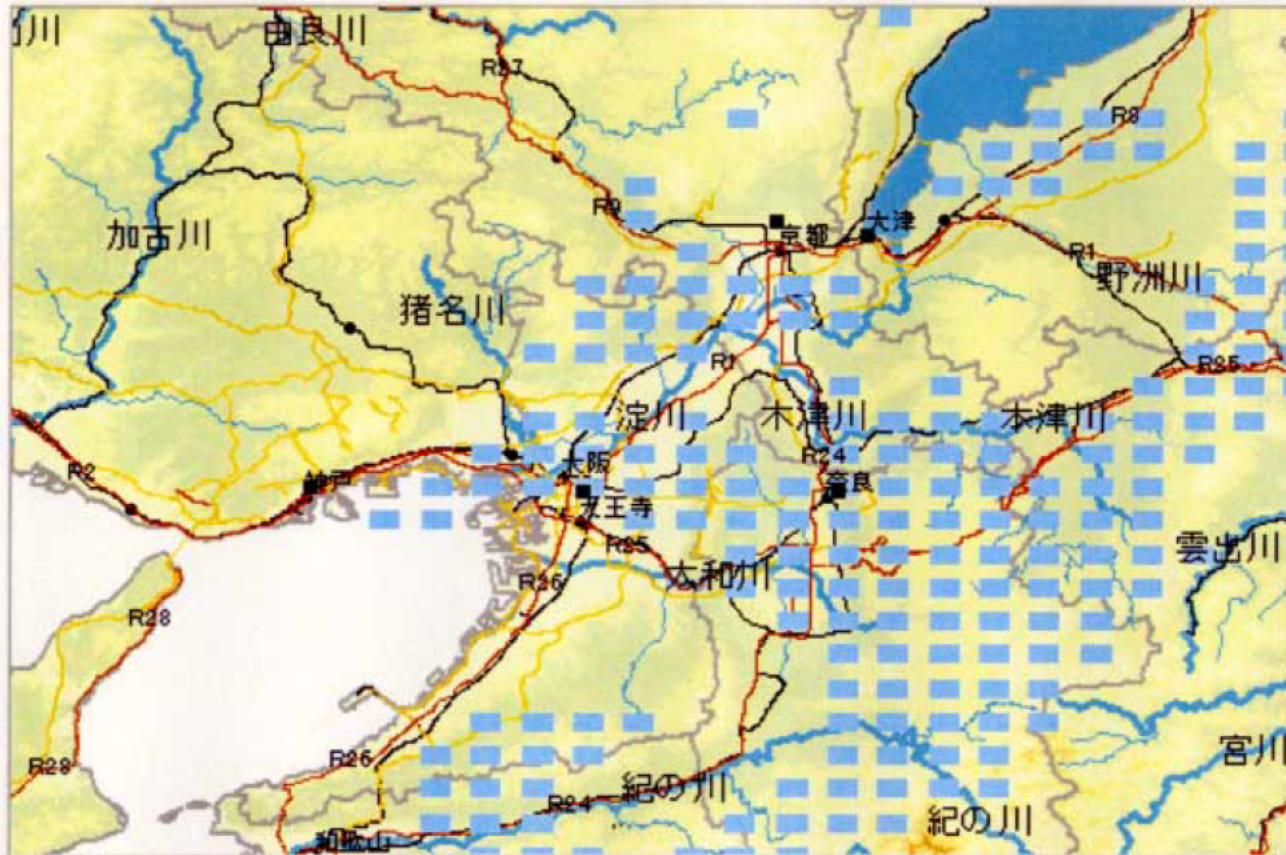
避難システム整備(インターネットによるリアルタイム情報提供)

地方レーダ雨量拡大2

拡大 縮小 全国

最新 時刻指定

2002/01/07 22:40



雨量強度凡例

- 1 ~ 9mm/時
- 10 ~ 29mm/時
- 30 ~ 49mm/時
- 50 ~ 99mm/時
- 100 ~ mm/時
- 未測定

地図凡例

- 一級河川 / 本川
- 一級河川 / 支川
- 都道府県庁所在地
- 主要駅
- 主要鉄道
- 高速道路
- 主要国道
- 都道府県界

0 10 20 30km

雨量強度はレーダで5分間観測した雨の強さを60分間の雨量に換算したものです。
地図を直接クリックするとその地域に移動・拡大します。

避難システム整備 (i-modeによる情報提供 (FRICS))



課題

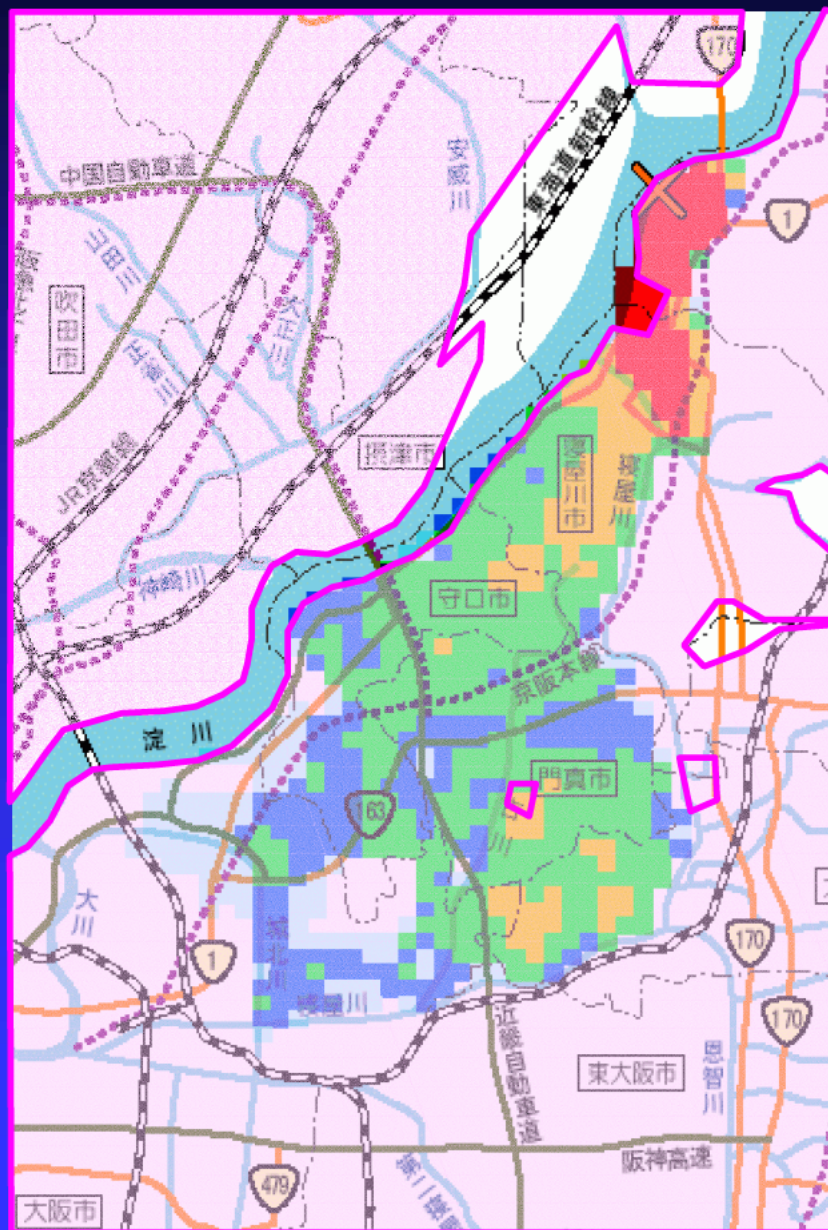
土地利用、都市計画

(参考)

建築基準法 第39条

- 1 地方公共団体は、条例で津波、高潮、出水等による危険の著しい区域を災害危険区域として指定することができる。
- 2 災害危険区域内における住居の用に供する建築物の建築の禁止その他建築物の建築に関する制限で災害防止上必要なものは、前項の条例で定める。

市街化区域



昭和28年9月洪水の2倍の洪水が発生し、淀川左岸24.4kが破堤したときに想定される浸水区域と市街化区域

破堤を回避できれば

洪水による破壊力の緩和

氾濫速度の緩和

氾濫水量の減少



破堤の回避を優先